昭和46年開校
平成25年CS指定

野火止小だより

学校地域教育目標
考え学ぶ子　仲よくする子　たくましい子　地域を愛する子
野火止小は保護者や地域と共にあるコミュニティ・スクールです

めざす学校像
-全ての児童が確実に伸びる学校-

５月号　令和８年４月30日
新座市立野火止小学校
児童数534名・学級数21学級
住所　新座市野火止4-9-1
TEL 048-477-1211

５月の生活目標
言葉づかいに
気をつけよう。
相手の気持ちになって

食べられる校庭



校長　若林　寿

新学期が始まり、順調に一カ月が経とうとしています。１年生の教室には、給食サポートとして、連日たくさんのボランティア（学校応援レンジャー「給食イエロー」）の方々が来てくださり、教室はいつも温かな雰囲気に包まれています。保護者、地域の皆様の学校へのご協力に心から感謝申し上げます。また、先日は、給食を食べていた児童が私を呼び止め、『美味しい。校長先生、私、野火止小に来てよかった。』とうれしい言葉をかけてくれました。改めて、食の大切さを胸に刻む瞬間でした。



さて、今から約20年前、私がデュッセルドルフ(ドイツ)に派遣されていた頃の思い出を一つ。家族旅行で訪れたバルセロナ（スペイン）のレストランで、隣席のご夫婦から「お子さんたちは、とても礼儀正しいですね」とお声をかけていただきました。ご夫婦はフランス人で、英語の先生。バルセロナには、週末を使って遊びに来ているということでした。会話が弾む中で、なんとご主人の勤務先が、かつて妻が留学していた大学であることが判明し、さらに話に花が咲きました。そんなご縁で私たち家族は、次の日、フランス最南端に位置するスペイン国境近くの都市ペルピニャン郊外にあるご夫婦の自宅を訪れることになります。バルセロナから車で約２時間。ご夫婦の自宅は、手入れの行き届いた緑豊かな庭が広がる、明るい雰囲気のお家でした。振る舞われたランチには庭で採れた野菜がふんだんに使われ、レモンソースやハーブティーも庭の恵み。「自宅の庭のものなんですよ」と笑顔で教えてくださいました。改めてお庭を見せていただくと、花壇だと思っていた場所の多くが畑。この地方の特産であるアーティチョークが庭にも食卓にも彩を添えています。もはやどこまでが花壇で、どこからが畑なのか分からないほど。いわば「食べられる庭」(エディブル・ガーデン／ポタジェ)。野菜、ハーブ、果樹を美しく配置し、観賞と収穫を同時に楽しむ庭づくりです。歴史的なカタルーニャ文化、大学の町としての若々しいエネルギー、そして美しい庭から食卓へ届く新鮮な恵み。それらが織りなす豊かな日常に、深く心を動かされました。(新座に重なるものがあります。)

近年、米国を中心に、この発想を学校に広げた「食べられる校庭」(エディブル・スクールヤード）という教育プログラムが広がっています。季節の移り変わり、植物の成長、生命の循環（生活科・理科・道徳)、農業や特産物の理解（社会・総合的な学習の時間)、食育(家庭科・特活)など、教室での学びを実体験と結びつけます。花壇や菜園の維持・運営に保護者や地域の方々が関わることで、持続可能な仕組みとなり、子どもたちの学びと地域コミュニティの双方が豊かになります。

野火止小には、水田を中心とした畑と花壇、校庭・校舎周りの豊かな自然環境があります。まさに「食べられる校庭」を実現できる土壌です。現在、毎週火曜日の午前中には、花いっぱいボランティア（見守りレンジャー「ガーデングリーン」）の皆さんが活動中。水田・菜園では、各学年・たんぽぽ学級の栽培活動も始まっています。子どもたちが土に触れ、芽吹きを見守り、収穫の喜びと食のありがたさを知る。そんな学びを、学校と地域で育てていきたいと考えています。



「食べられる校庭」づくりを、さらに広げていきます。多くの保護者・地域の皆様のご参加をお待ちしています。

【参加のご案内】校舎前の畑に集合！
〇活動日：毎週火曜日　10:00～11:00
（休み時間は有志の子どもたちも参加します）
〇内容：花壇活動、農園活動
〇持ち物：帽子・水筒など
（ガーデニンググローブは学校で用意します）

本校は、保護者・地域の皆様とともにあるコミュニティ・スクールです。地域を豊かに、そして愛する心を育む学びをこれからも一緒に紡いでいきたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。